



Sustainable
Value Plan
2030

オープン、フェア、クリアな
企業風土のさらなる浸透により、
ガバナンス体制を改善・堅持する

ガバナンス

社会課題

企業が社会の一員として存続し、発展していく上では、多様なステークホルダーの期待に応え、社会の信頼を得ることが不可欠です。企業が社会的責任を果たし、持続的成長と長期的な企業価値向上を図るためには、透明性や公平性を重視した社会規範に沿った事業活動を行うとともに、経営環境の変化に合わせて自社の成長や企業価値向上に役立つ迅速・果敢な意思決定と執行を行うコーポレート・ガバナンスの充実に取り組む必要があります。

富士フィルム
グループが
SVP2030で
目指すもの

(重点課題)

ガバナンス体制の改善と堅持

富士フィルムグループは、企業理念と「オープン、フェア、クリアな企業風土」を掲げるビジョンの下、誠実かつ公正な事業活動を通じて、持続的な成長と企業価値の向上を図るとともに、社会の持続的発展に貢献することを目指しています。SVP2030では、そのすべての基盤となるコーポレート・ガバナンスを、改めて重要な課題として位置づけ、内部統制と監査体制を強化することで、より強固なコーポレート・ガバナンス体制の構築と維持継続に取り組まします。

2030年
目標

オープン、フェア、クリアな企業風土のさらなる浸透により、
不祥事・重大法令違反ゼロを目指す

2018年度
の活動

【目標】富士フィルムグループ一体となったガバナンス体制作りと業務管理プロセス強化

- 取締役会審議の充実と経営の意思決定の透明性向上のため、社外取締役を4名に増員
- 取締役会の任意の諮問機関として、社外取締役を委員長とする指名報酬委員会を設置



海外でのリスクマネージャー研修の様子

【目標】グローバル全社でのコンプライアンス意識向上とリスクマネジメントの強化

- 富士フィルムグループの企業行動憲章・行動規範の改定 (P43参照)
- 2017年度コンプライアンス意識調査のフォロー調査実施⇒重大事案なし
- 複数の海外地域統括本社において、リスクマネージャー研修の実施
- 情報セキュリティ事案の報告システムをグローバルに導入
- 大規模災害を想定した訓練及び防災教育の実施 (P43参照)

【目標】公平で独立性のある監査の維持と監査レベルの向上

- 財務データのトレンド、売上げ・経費・勤怠などのデータ分析、メールフォレンジックの仕組みを構築、国内監査から実践導入。監査の網羅性、客観性を向上

▶関連資料・データ: **マネジメント編** P23 コーポレート・ガバナンス、P28 コンプライアンス&リスクマネジメント

今後の
活動&目標

- FHを中心に事業会社であるFF、FXによるコンプライアンス活動の一体運営の強化、及び全従業員のより一層のコンプライアンス意識向上を目的とした施策の実行
- 取締役会審議のさらなる充実と経営の意思決定の透明性向上

FH:富士フィルムホールディングス FF:富士フィルム FX:富士ゼロックス